設定を変えて仕上がりをコントロールする

アプリケーションソフトとプリンタードライバーの設定をしましょう。

※ 以下の説明は Photoshop Elements を用いることを想定しています。

1 Photoshop Elementsのプリント設定

Photoshopのプリント画面内、カラーマネジメント欄の［カラー処理］で［プリンターによるカラー管理］を選択します。OSやPhotoshopのバージョンによって選ぶべき項目が異なりますので、下表を参照してください。

※Windows 版、Macintosh 版共通。

アプリケーションとOSのバージョンの違いによる正しい［カラー処理］の設定

下表は最新のプリンタードライバーを前提としていますので、最新版のプリンタードライバーをダウンロード・インストールしてください。

	Windows：XP SP2以降、Vista、7 Mac OS：X10.5以降	Windows：XP SP1以前 Mac OS：9.1～X10.4.x
Adobe Photoshop CS3以降	プリンタによるカラー管理	カラーマネージメントなし
Adobe Photoshop CS2以前	カラーマネージメントなし	
Adobe Photoshop Elements 6 以降	プリンタによるカラー管理	
Adobe Photoshop Elements 5 以前	カラーマネージメントなし	
Adobe Photoshop Lightroom 1 以降	プリンタによるカラー管理	

2 プリンタードライバーの設定

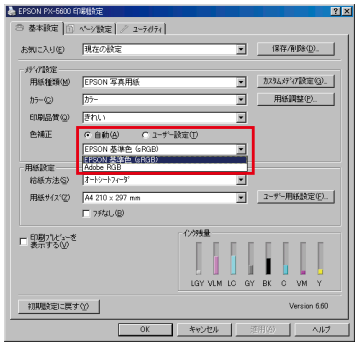
［ 1 ］データに忠実にプリントしたい場合

うまく撮影できていて画像調整の必要がないデータをプリントするときや、レタッチ済みの画像をプリントするときなど、データに忠実な仕上がりが望ましい場合は、印刷設定時に、画像の持っているカラースペースと同じもの（［EPSON 基準色（sRGB）］か［Adobe RGB］）を選択することをおすすめします。

K3系プリンターの印刷設定画面の例

色補正で［自動］を選択し、下のメニューから画像と同じカラースペースを選ぶ。

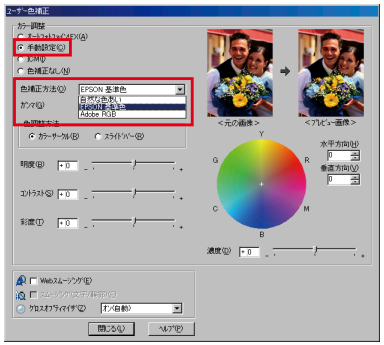
※右はPX-5600での例（OSはWindows）であり、設定のための手順はOSと機種によって多少異なります。



カラリオ系プリンターの印刷設定画面の例

ユーザー色補正の項目で［手動設定］を選択し、下のメニューから画像と同じカラースペースを選ぶ。

※右はPX-G5300での例（OSはWindows）であり、設定のための手順はOSと機種によって多少異なります。



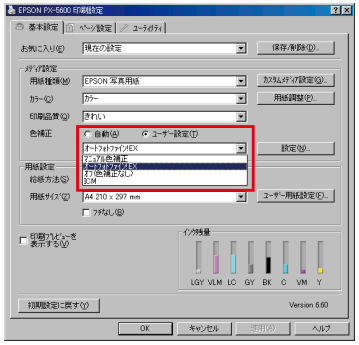
［ 2 ］自動補正を使って見栄えよくプリントしたい場合

逆光になったスナップなどちょっとした失敗を補いたい、あるいはたくさんプリントしたいからレタッチが面倒というときには、プリンタードライバーで自動的に補正することができます。手軽にきれいなプリントを得たい場合、印刷設定時に自動補正機能［オートフォトファイン！EX］を選択することをおすすめします。

K3系プリンターの印刷設定画面の例

色補正で［ユーザー設定］を選択し、下のメニューから［オートフォトファイン！EX］を選ぶ。

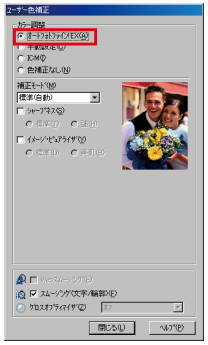
※右はPX-5600での例（OSはWindows）であり、設定のための手順はOSと機種によって多少異なります。



カラリオ系プリンターの印刷設定画面の例

ユーザー色補正の項目で［オートフォトファイン！EX］を選ぶ。

※右はPX-G5300での例（OSはWindows）であり、設定のための手順はOSと機種によって多少異なります。



上記［ 1 ］［ 2 ］以外の印刷設定として以下のものがあります。

［ 3 ］ICCプロファイルによる印刷

アプリケーションソフトでプリンターのICCプロファイルを選ぶ方法です。この場合、プリンタードライバーは［色補正なし］に設定します。
詳細はエプサイト実験室「プロファイルの違いの徹底実験！」の資料3をご参照ください。

［ 4 ］OSのカラーマネジメントシステムによる印刷

WindowsでICMを使う方法です。この場合、プリンタードライバーは「ICM」に設定しますが、OSやアプリケーションソフトによって設定が異なります。詳細はお使いのプリンターの取扱説明書をご参照ください。